

2011年10月26日

各位

シミック株式会社

『health クリック』における意識調査実施のお知らせ

～物忘れだけではない、レビー小体型認知症をご存知ですか？～

当社子会社である株式会社ヘルスクリック（代表取締役：松原久雄、本社：東京都品川区、以下ヘルスクリック）は、同社が運営する健康ポータルサイト『health クリック』上において、レビー小体型認知症に対する意識調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

記

1. 意識調査の内容

ヘルスクリックが運営する『health クリック』は、生活習慣病をはじめとした様々な疾患の予防を目的として、健康一般情報および疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです。

ヘルスクリックでは、さまざまな疾患や健康に関する意識を把握するために『health クリック』上で、定期的に意識調査を行っております。

2. 今回の調査

この度、レビー小体型認知症特集内にて「レビー小体型認知症及び認知症」に関する調査を行いましたので、その結果を報告いたします。

3. レビー小体型認知症とは？

70ほどの種類があると言われる認知症の中で、アルツハイマー型認知症がもっとも患者さんの数が多く、全体の半分を占めています。それに次いで多いのがレビー小体型認知症で、患者さんの数は少なくとも50万人はいると考えられていて、認知症全体の20%を占めています。（2011年2月現在）。

レビー小体は脳の神経細胞の中にある異常な物質のひとつで、これが大脳皮質と呼ばれる脳の表面の広い範囲に現れると、レビー小体型認知症が発症します。このようなことがなぜ起きるのかは、現在はまだよくわかっていません。

認知症というと「もの忘れ」の病気だと思われがちですが、レビー小体型認知症では、初期にはもの忘れがあまり目立たないことが少なくありません。実際にはその場にはいない人や子供や虫や猫などが見える「幻視」が、初期の症状として現れることが多いといわれています。

「レビー小体型認知症に関するアンケート」結果発表

実施期間:2011年4月25日(月)~10月17日(月)

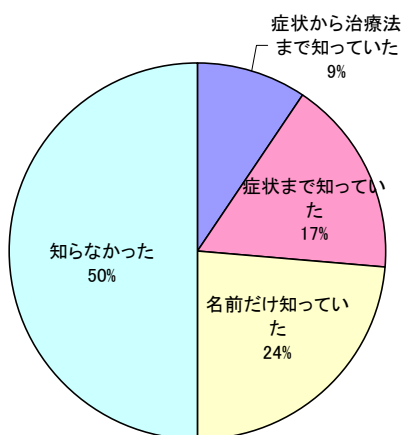
回答者数:106名

性別:女性66名、男性40名

年代:10代...2名、20代...6名、30代...11名、40代...25名、50代...28名、60代...25名、70代以上...9名

■レビー小体型認知症を少なからず知っていたと回答していたのは約50%

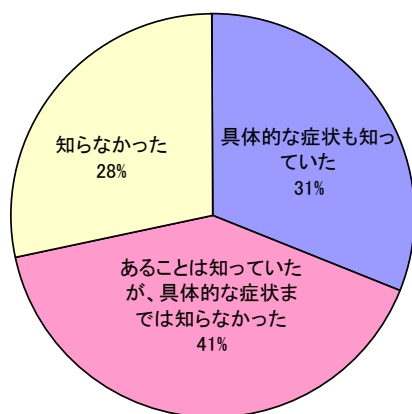
Q.1 「レビー小体型認知症」をご存じでしたか？



アルツハイマー型認知症に比べ、認知度が低いと思われたレビー小体型認知症だったが、「知らなかった」と回答したのは50%。一方で、「名前だけ知っていた」「症状まで知っていた」「症状から治療法まで知っていた」をあわせて、レビー小体型認知症について何かしら知っているとした割合は50%にのぼった。

■「もの忘れ」以外の症状が認知症にあることを知ることが早期治療の近道に。

Q.2 認知症に「もの忘れ」以外の症状があることをご存じでしたか？

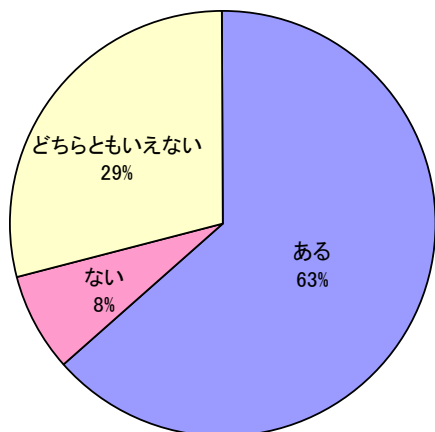


レビー小体型認知症はアルツハイマー型認知症と異なり、実際にはその場にはいない人、子供、虫や猫などが見える「幻視」が、初期の症状として現れることが多いのが特徴。もの忘れ以外にも症状があるとは知りつつも、具体的な症状まではまだ知られてはいないことが回答から分かる。具体的な症状が知られていないために、なかなか専門医の診察を受けない患者も多いのではないかと推測され、症状を知ることが早期治療の近道になると考えられる。

「レビー小体型認知症に関するアンケート」結果発表

■ 認知症になるのではないかと不安を持っているとの回答は約 60%にも！

Q. 3 ご自分が認知症になるのではないかと不安はありますか？



不安があると答えた方は 60%となり、回答の大半を占めた。具体的にどのようなことが不安か?(複数選択可)という問いに対してもっとも多かったのは、

「治療費が家族にとって大きな負担とならないか(35 票)」
 ついで「医師やヘルパーなど、どんな人のお世話になるのか(29 票)」という結果だった。

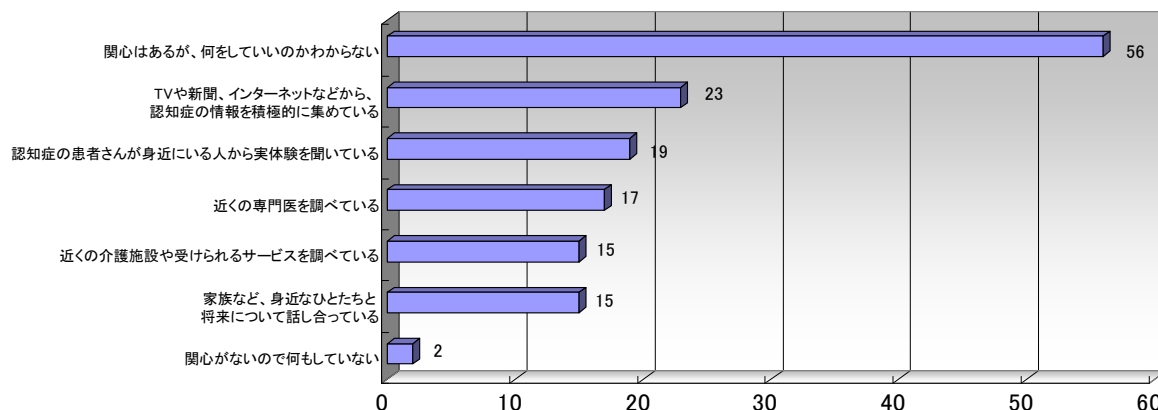
長期にわたって治療が必要な認知症において、「治療」や「介護」については大きな不安となっていることを示す結果となった。

【自由回答】

- 独り身なので、自身が認知症になっても気づけないのではないかと、ということや、世話をしてくれる人がいないことが不安です。(40代 女性)
- 自分のせいで、家族に迷惑や嫌な思い等かけたくない(50代 女性)
- 暴言を吐いたり人を傷つけるような言動や行動で迷惑をかけてしまうんじゃないか、子供がいないので、将来そうなったときに施設などハード面で施設が足りているのか？高額でお金が無いと施設入所できないのでは？と不安です(40代 女性)

■ 認知症になってしまった時の準備は「何をしたいかわからない」

Q. 4 身近な人やご自分が認知症になったときの準備はしていますか？(複数選択可)



「レビー小体型認知症に関するアンケート」結果発表

認知症になったら…という不安は抱えつつも、認知症になったときの準備となると何をしたいかわからない、という現状がうかがわれる。

一方、TV や新聞、インターネットから積極的に情報を集めているという回答も多い。

ネットが普及した今、上手に使うって情報をつかんでいくことは、疾患に早く気づく近道だといえる。

『health クリック』では、レビー小体型認知症特集(<http://www.health.ne.jp/library/dlb/index.html>)を展開しています。メディカルケアコート・クリニック院長(横浜市立大学名誉教授) 小阪憲司先生にレビー小体型認知症の基礎知識や対策についてお伺いした記事が満載です。

なお、アンケート回答結果の詳細は、10/31 午前11時より『healthクリック』で公開予定です。

(<http://www.health.ne.jp/library/dlb/enquete01.html>)

今後も『health クリック』では引き続き、健康を追求する一般消費者の皆様に正しい情報・知識を普及させるべく、優良なヘルスケアコンテンツを集約し、ユーザの役に立つ幅広いコンテンツメニューを取り揃えてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヘルスクリック 担当 小川・三上 03-5745-6505

以上

【シミック株式会社】

当社グループは、日本で最初の CRO (医薬品開発受託機関) として、臨床試験の効率化、迅速化に貢献するサービスを提供しています。現在、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルである PVC (Pharmaceutical Value Creator) のもと、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業という事業領域においてサービスを提供しております。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

<http://www.cmic.co.jp/>

【株式会社ヘルスクリック】

株式会社ヘルスクリックでは、主に疾病啓発活動 (特に「health クリック」を用いた活動)、疾患に関する意識調査、患者サポート、治験・臨床試験の被験者募集業務、24 時間健康相談、ドラッグインフォメーション、栄養指導等を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.healthclick.co.jp/>
